

## 令和7年度砺波厚生センター運営協議会概要

日 時：令和7年10月22日（水）14：00～15：00

場 所：ア・ミューホール

出席者：委員25名中16名出席（うち3名代理出席）

### 1 開会

### 2 厚生部挨拶（守田県厚生部次長）

### 3 会長挨拶（夏野委員）

### 4 事業報告

（1）厚生センター事業の概要について・・・所長

（2）食中毒について・・・衛生班長

### 5 質疑応答

<委員>

・感染症に関する注意喚起をもっとマスコミを通じて啓発できないか。

<センター>

・感染症発生動向調査速報等、様々な機会を通して啓発していきたい。

<委員>

・口腔保健について、もっと実施してほしい。

在宅医療での医師と歯科医師の連携も必要であり、協力したい。

<センター>

・厚生センター事業では口腔保健は多くないが、できることを実施していきたい。

在宅医療についてもご協力をお願いしたい。

<委員>

・家族が在宅訪問歯科診療を受け大変助かった。在宅支援も推進していただきたい。

<センター>

・個別の医療機関にお願いすることは難しいが、良い事例を会議等で紹介していくことは可能。

<委員>

- ・アニサキスの食中毒としての取り扱いについて。

<センター>

- ・寄生虫による食中毒は、急速冷凍により発生を防ぐことは可能だが、すべての事業者への導入は難しい。

<委員>

- ・ヒスチジン・ヒスタミン産生菌・ヒスタミンについて。

<センター>

- ・ヒスタミン産生菌は、特定の菌ではなく様々な菌がいるもの。加熱すれば死滅するが、調理前の流通過程では加熱対応は難しいので、菌を増やさないように低温流通することになる。